

2026 年 7 月 8 日

脳神経外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「急性中大脳動脈 M2 閉塞に対する血栓回収療法の治療成績」についてのお知らせとお願い

脳神経外科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報・試料を用いた研究を行います。皆様のご理解をお願い申し上げます。

研究の目的

本研究は、当院における急性中大脳動脈 M2 閉塞に対する血栓回収療法の治療成績を明らかにすることを目的としています。

研究期間

研究機関の長の研究実施許可日～2026 年 11 月 23 日

研究の意義

本研究により、急性中大脳動脈 M2 閉塞に対する血栓回収療法の有用性を明らかにし、今後の臨床に役立つことが期待されます。

研究の方法

研究デザイン：後ろ向き観察研究

対象：2017 年 6 月 1 日から 2026 年 5 月 31 日までに、当院で急性中大脳動脈 M2 閉塞に対する血栓回収療法を受けた方

利用する情報・試料の種類

利用を開始する予定日：研究機関の長の研究実施許可日

研究に用いる情報：年齢、性別、心房細動・抗凝固薬の有無、発症前 mRS, 治療日、閉塞部位、NIHSS, ASPECTS-DW, 回収手技、血栓回収デバイス名、pass 回数、door to puncture time, puncture to recanalization time, TIC1 分類、Heiderberg 分類、合併症、続発症、退院時 mRS

研究に用いる試料：該当なし

研究成果の取扱い

研究成果は、学会発表や論文として公表される可能性があります、個人が特定されることはありません。本研究の内容や研究結果等について質問等が生じた場合には以下の研究責任者まで問い合わせください。

個人情報の保護方法と情報・試料の取扱い

個人情報は研究用 ID に置き換えて管理します。対照表は研究責任者が施錠された場所にて保管します。

研究データ等は研究終了後 10 年間保管し、その後朝日大学の規則に従い廃棄します。

個人情報管理者

朝日大学歯学部長 玉置幸道

朝日大学病院長 日下義章

研究への使用について拒否をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。また、情報・試料が本研究に用いられることについて了承いただけない場合には使用しませんので、以下の研究責任者まで申し出ください。なお、本研究は、朝日大学病院医学倫理審査委員会において審査、承認され、研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への情報・試料の使用をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

本研究により生じる知的財産権（著作権、特許権など）は、研究者及び朝日大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

問い合わせ先（研究責任者）

朝日大学病院 脳神経外科 教授 岡 直樹

電話番号：058-253-9921

苦情窓口

朝日大学病院 管理課

〒500-8523

岐阜県岐阜市橋本町 3-23

電話番号：058-253-8001



(2026 年 6 月 10 日改定)